

10 自然環境

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02総務費	02企画費	02計画調査費	528,690
一般	04衛生費	02環境衛生費	03環境衛生指導費	1,464,653
一般	06農林水産業費	05林業費	04造林費	※ 1,441,428

1 自然環境の保全

1 自然の保護（生活安全課、環境首都課）

1(1) 希少野生生物保護推進事業

「徳島県希少野生生物の保護及び継承に関する条例」に基づき、希少野生生物保護専門員を設置し、保護すべき野生生物の種及び区域の候補の選定や生息・生育状況等の調査を行った。

1(2) 徳島県県民協働による課題解決事業

湧水・干潟の県内における分布状況を把握し、県民にその情報を提供するとともに、携帯端末を利用した市民参加型の簡易な分布等の調査を実施することで、その方法を周知した。

1(3) 特定外来生物生活圏侵入予防事業

津田木材団地の特定外来生物アルゼンチンアリの拡大を防止し、津田の住宅地区へのアルゼンチンアリの侵入の予防を図った。

1(4) 佐那河内いきものふれあいの里管理運営事業

平成18年度から指定管理者制度を導入し、施設の適正運営と利用促進を図った。

1(5) 特定鳥獣適正管理促進プロジェクト事業

野生鳥獣との共存を図るため、ニホンジカの個体数調整捕獲や新規狩猟者確保のためのイベント等を実施した。

1(6) 野生鳥獣保護増殖事業

ア 野生鳥獣の保護繁殖を図るため、第11次鳥獣保護事業計画に基づき鳥獣保護区等の設定を行った。

種 別	26年度末設定実績
鳥獣保護区設定（特別保護地区含む）	25,815 ha
休猟区設定	0 ha
特定猟具使用禁止区域（銃器）設定	39,413 ha
特定猟具使用禁止区域（くくりわな）設定	400 ha
指定猟法禁止区域設定	14,803 ha

イ 鳥獣調査事業

種 別	内 容
鳥獣生息状況調査	鳥獣保護区鳥獣生息分布調査，ガン・カモ・ハクチョウ類一斉調査，鳥獣保護区等設定効果測定調査，吉野川河口干潟鳥類飛来状況等調査
ニホンジカモニタリング調査	生息状況等の調査

ウ 鳥獣保護普及事業

種 別	内 容
野鳥の森管理	清掃・整理等管理
愛鳥週間ポスター原画募集	応募数：40校222点 表彰：知事賞9点 入選21点
野生鳥獣救護ボランティア事業	野生鳥獣救護ドクター（5名）及び救護ボランティア（39名）
愛鳥週間ポスター展	平成26年5月9日～5月15日NHK徳島放送局視聴者プラザ 5月15日～5月28日シビックセンター 6月14日～8月31日佐那河内いきものふれあいの里

エ 狩猟取締事業

狩猟期間中の事故事犯の防止のため，警察当局との連携のもと，司法警察員（14人），鳥獣保護員（32人）等により取締りを実施した。

オ 狩猟対策事務

(ア) 狩猟免許の交付

種 別	26年度 試験結果	備 考
網 猟	0件	狩猟免許試験 年3回実施
わな猟	193件	
第1種銃猟	49件	
第2種銃猟	5件	
計	247件	

(イ) 狩猟者登録（平成26年度）

種 別	登録証交付数		
	県内者	県外者	計
網 猟	3件	0件	3件
わな猟	1,053件	13件	1,066件
第1種銃猟	1,041件	113件	1,154件
第2種銃猟	47件	1件	48件
計	2,144件	127件	2,271件

カ 外来種対策

外来種の中で特に生態系や農林水産物への影響が顕著であるナガエツルノゲイトウ，セアカゴケグモ等について，関係機関との連携により生息状況調査や防除対策を実施した。

2 自然とのふれあいの場の確保（環境首都課，林業戦略課）

2(1) 自然公園等施設整備事業

ア 環境省の自然環境整備交付金(国45/100，県55/100)により，自然公園等施設の整備を図った。

公園	地区名	事業主体	事業内容	事業費
室戸阿南海岸国定公園	竹ヶ島海域公園地区	県	自然再生計画調査	4,000千円
長距離自然歩道 (四国のみち)	板野町	県	自然環境整備事業補助金	2,000千円

2(2) 自然公園等維持事業

ア 自然公園維持管理事業

自然公園施設の適正な維持管理を図った。

イ 四国のみち維持管理事業

環境省所管の四国のみちの適正な維持管理を図った。

ウ 剣山山頂トイレ・あわエコトイレ整備事業

周辺の自然環境への負荷を低減するとともに，最新のバイオ技術や自然エネルギーを活用したエコトイレの整備を行った。

公園	地区名	事業主体	事業内容	事業費
剣山国定公園	剣山山頂	県	剣山山頂・あわエコトイレ	150,000千円

2(3) 自然休養林等整備事業

剣山周辺の自然休養林や生活環境保全林の適切な維持管理を図った。

事業名	事業内容	事業費(千円)
剣山自然休養林等保護管理協議会	剣山巡視，清掃管理	1,600
生活環境保全林管理事業	大川原生活環境保全林の管理	297

3 県民参加の促進（生活安全課，南部総合県民局，西部総合県民局）

3(1) 自然環境ボランティアの育成

自然に対して正しい知識を持ち，身近な地域の自然環境改善運動や自然一斉調査を推進する上で活動の核となる自然環境協力員に対し，アカウミガメの上陸・産卵調査に関する講習会を行いウミガメ保護ボランティアの育成を図った。

事業名	事業内容	事業費
ウミガメ保護ボランティア支援事業	ネイチャースクールの開催	230千円

3(2) 千年サンゴ保全活動推進事業

南部圏域を代表する自然財産「千年サンゴ」と周辺のサンゴ群の生育環境を保全し、持続可能な保全活動体制を構築するため、地元団体等を構成員とする協議会が実施する保全活動を推進するとともに、魅力発信を行い、保全活動の担い手及び支援者の拡大に取り組んだ。

3(3) 未来へつなぐ剣山魅力アップ推進事業

地域の宝である剣山の魅力を情報発信し、観光誘客や地域活性化の促進を図るとともに、剣山の美しい自然環境を次世代に継承していくため、「剣山国定公園地域連携協議会」や「剣山サポータークラブ」を創設し、地域が一体となった自然保護活動や人材育成などに取り組むことにより、県民参加による新たな自然公園のモデルづくりを推進した。